

先生。プラスバンドの演奏に緊張が解け、期待をふくらませながら席に着いたときのこともまた、くっつきと覚えておられます。

あれから江古田の地で過ごした六年間を顧みますと、これでもかというくらい濃密な一日一日が思い出されるところであります。

今までと何もかもが変わった自由な学校生活に心が躍った中学一年生の春。「自由には責任が伴う」という先輩方や先生方のお説教など知ったこっちゃないと言わんばかりに、この環境を楽しみ尽くそうとしたものであります。

やがて世間がコロナウィルスの流行にさらされると、自宅でパソコンとにらめっこする日が続いたり、行事の中止や規模縮小を目の当たりにしたりと、昨年までとは違って制約に囚われる日々を過ごすこととなりました。しかし同時に我々は、その制約をなんとか一々打ち破ってやろうと努力を重ねる先輩方の姿を見ることができたのであります。先輩方のとどまるどころを知らない悪あがきは、良いものも悪いものも含め私どものお手本となっていたのでしよう。